

第2回 福岡ライフセービング選手権大会 チーム参加募集要項

福岡大会
2020

チーム1次要項

2020年3月12日

特定非営利活動法人 福岡県ライフセービング協会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は特定非営利活動法人 福岡県ライフセービング協会の事業に対しまして、格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記のとおり「第2回 福岡ライフセービング選手権大会」を開催いたします。本大会は「三洋物産インターナショナルライフセービングカップ 2020」のプレ大会として開催します。また、本大会は日本ライフセービング協会 B 認定大会として開催を申請中です。

県内外のライフセーバー交流のため、広くお気軽にご参加のほどお願い致します。皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

- 名称 第2回 福岡ライフセービング選手権大会
- 日程 2020年5月10日(日)
- 会場 シーサイドももち海浜公園百道浜東側地区(福岡県福岡市早良区)
- 主催 特定非営利活動法人 福岡県ライフセービング協会
- 後援(予定) 福岡県、福岡市、福岡市教育委員会
- 協賛(予定) 株式会社三洋物産/株式会社三洋販売
- 協力(予定) 公財)日本ライフセービング協会、九州産業大学ライフセービングクラブ、(特非)新宮ライフセービングクラブ、福岡ライフセービングクラブ、福岡大学ライフセービングクラブ、福岡サンセットショアライフセービングクラブ、博多サーフライフセービングクラブ、宗像ライフセービングクラブ
- 競技種目 [個人種目]
 - 01 サーフレース(男女混合)
 - 02 ボードレース(男女混合)
 - 03 ビーチフラッグス(男・女)
 - 04 ビーチスプリント(男・女)
 - 05 1km ビーチラン(男女混合)[チーム種目]
 - 06 レスキューチューブレスキュー(4名1チーム)
 - 07 ボードレスキュー(2名1チーム)
 - 08 ボードリレー(3名1チーム)
 - 09 ビーチリレー(4名1チーム)

※ チーム種目のみに出場する競技者も選手リストに必ずエントリー(参加費が必要)してください。

※ チーム種目は各クラブから2チームまでのエントリーとします。

※ 競技者と審判員・安全課を兼ねることができますが、審判員・安全課の人員配置の都合により、エ

ントリー後に各チームへ出場種目の調整をお願いさせていただく可能性があります。

※ 日本ライフセービング協会 B 認定大会となった場合、審判員として参加された方は競技者兼審判員の方も審判員参加履歴として加算される予定です。但し、審判員資格の資格登録費の納入がなければ審判員参加履歴として加算されませんので、大会当日までに LIFESAVERS「<https://life-savers.jp/>」により資格登録と資格登録費の納入をお勧めします。

■競技規則 2019 年版「<https://ls.jla-lifesaving.or.jp/lifesaving-sports/rule/>」に則り実施します。但し当日会場の状況（潮汐等）により一部のルールやコースを変更することがあります。

■得点と表彰 各競技上位 1～8 位を入賞とします。1～3 位は表彰状を授与します。また、チーム総合得点により、上位 1～8 位を入賞とし、1～3 位は表彰状を授与し表彰式で表彰します。なお、ライフセービングチーム最優秀の証として、総合優勝チームには福岡県ライフセービング協会理事長賞が贈られます。

決勝の結果に対して得点を加算し、個人、チーム種目とも同じ得点とします。

ブロックシステムを採用します。

同種目に同じチームの競技者が複数入賞した場合、最上位競技者のみ加算され、下位競技者の得点は加算されません。また、ブロックシステムによる得点の繰り上りはありません。

ハンディキャップとして、レスキューボードで出場する競技者およびチームは種目ごとに 1 点を加算します。

配点は以下の通りです。

1 位－8 点、2 位－7 点、3 位－6 点、4 位－5 点、5 位－4 点、6 位－3 点、7 位－2 点、8 位－1 点

例・1 位と 2 位、6 位が同じチームだった場合

1 位－8 点、2 位－0 点、3 位－6 点、4 位－5 点、5 位－4 点、6 位－0 点、7 位－2 点、8 位－1 点

例・1 位と 4 位がレスキューボードだった場合

1 位－9 点、2 位－7 点、3 位－6 点、4 位－6 点、5 位－4 点、6 位－3 点、7 位－2 点、8 位－1 点

1. チームの総合得点が同点の場合は、1 位の種目の多いチームを、1 位の種目が同数の場合は、2 位の種目の多いチームを・・・というように総合順位を決定します。

2. 決勝で失格の場合は 0 点とします。

3. 総合順位は、実施種目の 70%以上の最終競技結果をもって成立するものとします。

○オープン参加による得点へ影響について

個人種目で競技者数が少ない場合やチーム種目で人数が不足する場合などにより、チームフリーまたは主催団体が出場を認めた場合は、オープン参加や他チームの競技者の出場を認めますが、オープン参加個人種目やそのチーム種目の得点は 0 点とします。また、決勝進出人数が限られている種目に、オープン参加することで 8 位までの順位が決められない場合、その順位と得点はつかなかったものとします。

○ボードリレーの得点について

ボードリレーにレスキューボードで出場するチームは、競技者 3 人がレスキューボー

ドを使用し、1点を加算します。レスキューボードで出場しないチームは、競技者3人がレスキューボードを使用できません。

■タイムテーブル

詳細は、エントリー集計後の2次要項でお知らせいたします。

■参加費

選手1名につき5,000円。但し下記のいずれかの参加費割引を適用します。

参加費は参加費割引の有無を問わず、保険費を含んでいます。

学生割：大学院生、大学生、専門学生、高校生、中学生は競技者1名につき3,000円（2,000円割引）。

兼務割：審判員又は安全課兼務の競技者1名につき3,000円（2,000円割引）。

※振込締切：2020年4月10日（金）入金分まで

振込先：西日本シティ銀行 須恵支店 普通 3073147 福岡県ライフセービング協会

■申込方法

「チーム参加募集1次要項」「大会参加規定」を熟読し、チーム単位でお申し込みください。提出物は事前のデータファイル送信と、大会当日の書類（同意書）提出がごさいます。記入漏れ・記入ミスがないように充分ご注意ください。

※申込締切：2020年4月10日（金）

①データ提出：2020年4月10日（金）24:00受信分まで

送信先：info@lifesaving.fukuoka.jp 福岡県ライフセービング協会宛

②当日書類（同意書）提出：2020年5月10日（日）8:50提出分まで

提出先：会場内 本部テント受付（提出されていないチームは出場できません）

提出：各チームで提出をお願いします。

■イベントタイムテーブル【予定】 ※詳細は2次要項でご案内いたします。

●5/9（土）

時間調整中 C級審判員養成講習会（調整中）

時間調整中 会場設営（調整中）

17:15-(予定) 出場確認（調整中）

17:30-(予定) 代表者会議（調整中）

18:00-(予定) ウェルカムBBQ（調整中）

●5/10（日）

9:00 開会式・競技開始

15:00(予定) 閉会式

15:30(予定) 大会終了・後片付け

■宿泊

各チームでご用意ください。

■食事

各チームでご用意ください。（付近に飲食店多数）

■2次要項

2次要項は、4月末頃にエントリー担当者へメールで送信する予定です。

■代表者会議

競技上の注意事項や大会に関わることについて説明をする代表者会議を開催します。詳細につきましては2次要項でご案内します。チーム代表者は必ずご出席ください。なお、やむを得ずチーム代表者が出席できない場合は、参加競技者で代表者に準ずる方の出席をお願いします。

■ラッシュベスト

オーシャン競技サーフ種目に出場する競技者および膝より深い海に入るハンドラーは、日本ライフセービング協会指定されたラッシュベストの着用を推奨しています。

可能な限りの着用をお願いします。

(次ページ、「大会参加規定」に続く)

第2回 福岡ライフセービング選手権大会

大会参加規定

1 参加資格

競技者の参加資格は下記 1-1～1-3 の 3 点を満たしている者、もしくは主催団体が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 競技者は、大会当日満 12 歳以上でなければならない。(但し小学生を除く)
- 1-2 中学生は、特別同意書を提出しなければならない。(別紙)
- 1-3 競技者は、ライフセービングを志し、海岸やプール等水辺での監視・救助活動、教育活動に従事した者でなければならない。(但し中学生を除く)
- 1-4 競技者は、日本ライフセービング協会選手登録を必須としない。
- 1-5 競技者(一般)はベーシックサーフライフセーバー以上の資格、競技者(高校生)は BLS 及び WS 以上の資格の取得を推奨する。

2 チーム構成

- 2-1 チームは、申込締切日までに、第 1～6 種の団体登録が完了していなければならない。
- 2-2 チームは、同じクラブに所属する競技者により構成されていなければならない。
- 2-3 参加チーム名は、日本ライフセービング協会に登録されているクラブ登録名とする。

3 出場登録

- 3-1 参加競技者は個人種目、チーム種目にかかわらず、あらかじめ所定の用紙を用い出場種目の登録をしなければならない。なお、登録後の出場種目の変更及び未登録の種目への出場はできない。
- 3-2 チーフレフリーまたは主催団体は、個人種目で競技者数が少ない場合やチーム種目で人数が不足する場合などの理由により、オープン参加や他チームからの競技者出場を認めることができる。

4 チーム代表者

各参加チームはチームを代表するものとしてチーム代表者を 1 名おこななければならない。なお、チーム代表者と競技者はこれを兼任することができる。また、代表者会議に参加しなければならない。なお、やむ負えずチーム代表者が出席できない場合は、チーム代表者の責任において参加競技者の中で代表者に準ずる者が出席すること。

5 チームユニフォーム及び競技中の衣類

- 5-1 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り競技中、任意に着用することができる。
- 5-2 キャップは、大会の前に日本ライフセービング協会に登録されているチームのみ着用しなければならない。なお、未登録のチームは主催団体がキャップを貸し出すことがある。

- 5-3 キャップは、チーム全員が同様の色とパターンでなければならない。オーシャン用とプール用で色やパターンが異なる場合、併用できない。キャップは、競技者の識別や判定のために重要であるため、スタート前に2本の紐をあごの下で結んで競技者の頭に着用しなければならない。スタート後に、キャップがとれたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。
- 5-4 チームのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュベストに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。
- 5-5 オーシャン競技サーフ種目では、できる限りラッシュベストの着用に努めなければならない。

6 表彰

- 6-1 福岡県ライフセービング協会理事長賞
チーム最優秀の証として総合優勝チームに贈られる。表彰は、閉会式にて行う。
- 6-2 総合及び各種目1～3位には賞状を授与する。
- 6-3 ハンディキャップとして、レスキューボードで出場する競技者およびチームは種目ごとに1点を加算する。

7 参加費

- 7-1 参加費は、競技者1名につき5,000円とする。但し以下のいずれかの割引を適用する。
 - (1) 学生割：大学院生、大学生、専門学生、高校生は競技者1名につき3,000円とする（2,000円割引）。
 - (2) 兼務割：審判員又は安全課兼務の競技者1名につき3,000円とする（2,000円割引）。
- 7-2 参加費は、参加申し込みの締切日までに支払わなければならない。
- 7-3 参加申し込み締め切り後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会の日程変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還しない。
- 7-4 競技者が欠場、あるいは、失格となった場合でも参加費は返還しない。

8 競技器材

- 8-1 競技に使用する器材は原則として参加競技者が用意するものとする。
- 8-2 競技で使用する器材は「競技規則 2019年版」の「器材の規格」の基準を満たさなければならない。
- 8-3 オーシャン競技サーフ種目で使用するレスキューチューブは、主催団体が用意するものとする。
- 8-4 マリブボードを用意できないチームには、主催団体がレスキューボードを貸し出すことがある。
- 8-5 競技者は、主催団体から器材にステッカー等の標示を添付する指示があった場合は、それに従わなければならない。

9 競技規則

- 9-1 本大会は「競技規則 2019年版」及び下記の事項に則り実施する。但し、下記の事項が競技規則 2019年版よりも優先される。
- 9-2 大会にエントリーすることで、参加者は競技会を管理する関連規則、規定、手順を知る責任と

義務があることを認識しているものとする。

- 9-3 本大会は、一部の規則を変更することがある。その際、チーフレフリーは各スタート前に競技者へ周知しなければならない。
- 9-4 本大会は会場の都合により、オーシャン競技のコースを一部変則的に設定する。変更内容は、代表者会議で通知する。

10 審判員の選出

- 10-1 本大会における審判員は、C級認定審判員資格以上を取得していること。
※大会前日に開催予定であるC級認定審判員養成講習会受講者も審判員として選出可能です。
- 10-2 審判員は、競技者を兼ねることができる。
- 10-3 競技者兼審判員も審判員参加履歴として加算されるが、審判員資格の資格登録がなければ審判員参加履歴として加算されないため、大会当日までに資格登録と資格登録費納入を推奨する。

11 その他

- 11-1 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像を、ライフセービングの広報の目的で使用することがある。
- 11-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。
- 11-3 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。

(以上)